

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	外国語	科目	英語コミュニケーションⅡ	学年	第3学年	類型	I 型
単位数	2 単位	教科書	VISTA Ⅱ（三省堂）				
補助教材	プレップイングリッシュ（旺文社）						

学習目標	日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、一定の支援を活用すれば、必要な情報を聞き取り、話の展開や話し手の意図を把握することができるようにする。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	lesson 5 Mont-Saint-Michel	モン・サン・ミシェルについての発表から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	中間考査
	5月		現在完了進行形、過去完了形、過去完了進行形を用いて表現する。	
	6月	lesson 6 Smart Agriculture	スマート農業についての発表から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	期末考査
	7月		have been done, will be doneを用いて表現する。	
2 学期	8月			中間考査
	9月	lesson 7 Martial Art on Tatami	競技かるたについての対話から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	
	10月		関係代名詞を用いて表現する。	
	11月	lesson 8 Biologging	バイオロギングについての発表から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。	期末考査
	12月		分詞構文、強調構文を用いて表現する。	
3 学期	1月	文法のまとめ	比較表現、倍数表現、完了形、関係詞、分詞構文、強調 仮定法などの総まとめ	学年末考査
	2月			
	3月			

学習の方法	音声にかかわる活動として、教科書テキストの音読とオーバーラッピングを行う。事前にテキストの読みの確認及び新出語彙と本文内容を予習し、授業での相互活動や理解度の確認に取り組める準備をしておく。また、リスニングやリーディング強化のための追加教材を使用する。それを含めてコミュニケーションの4技能向上に向けた学習を進める。
-------	--

評価の観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
	場面や状況に応じた論理の構成や展開、情報や考えを効果的に伝えるための表現を理解している。また、その表現が使える。	日常的な話題について、情報や考えを活用し、要点や意図を明確にして自分自身の考えを適切に表現している。	①②の各項目に積極的に取り組むとともに、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
評価方法	評価の観点を踏まえ、定期考査の得点と平常点から総合的に評価を行う。 平常点は、授業での小テスト（パフォーマンステストを含む）、提出課題、授業態度等を考慮して評価する。		